

針原地区社会福祉協議会の状況

令和6年3月現在

設立年月

平成17年4月1日

会 長	東狐 幸夫	副会長	藤井健一、上野武志、西田和人		
事務局所在地	地区センター内・公民館内・その他（会長、事務局長宅等） ○をお願いします				
事務局TEL	076-451-2555	事務局FAX	076-452-9061	事務担当	堀 謙治
人 口	3,967 人	世帯数	1,797 世帯	高齢化率	33.2 %

主な活動等

1. ケアネット活動（随時）

(1) 見守り活動

民生委員を中心にして、一人暮らしの高齢者を対象に近所の人達と協力して見守り活動を実施している。また、新任の町内会長には会合時見守りの趣旨を説明し、新規募集を呼びかけ、民生委員と協力し連絡をとりあい支援体制を築いている。

(2) 福祉マップ

会合時、各町内会長に福祉マップの加筆訂正をお願いし、完了後福祉マップの更新を行い、援助を必要としている人達を確実に把握している。

(3) 命のバトン

平成27年からの継続事業で、現在約400名弱の方が利用しており各町内回覧で参加募集の案内をして、新規参加者にはバトンを渡し加入者を把握している。

2. 生活支援（配食サービス年2回実施）

生活支援事業の中で、いきいきクラブ啓発活動として現在約60余名の方が参加しています。いきいき会食会は、コロナウィルス感染防止の為中止後4年余り経過していますが、それに替わる配食サービスを年2回（6・10月）に実施して会員との交流を図っています。また、また、恒例になった「カギかけ運動」と「特殊詐欺被害ゼロ地区運動」にも協力し啓発支援資材のひとつポケットティッシュを同時に配布し注意を呼びかけた。

3. ふれあい朝市（毎週1回 水曜日）

6月7日から12月中旬頃まで、「ふれあい朝市」を針原新町公民館で地元の方々で作った新鮮な野菜等の販売をしながら地域住民との交流を図っている。

4. 広報誌の作成（年1回）

針原地区社協役員から活動内容の報告、苦労話や喜びの声を全戸配布している。



<ふれあい朝市>



<ふれあい朝市>



<配食サービス>

会長のメッセージ

針原地区は高齢化率が高く、中でも在宅一人暮らしの高齢者（特に市営住宅在住者）が多く日常の見守りが不可欠なため、当地区では継続事業としてケアネット（見守り）、福祉マップ、命のバトン、生活支援活動を行ない、また、針原地区包括支援センターによる研修会等を開いたり、校区の大きな行事として敬老の集い、健康ふれあいまつり等を行ない交流を図っている。